

基本構想・基本計画に係る市議会と市との意見交換会 会議録

日 時：平成 24 年 6 月 25 日（月）午後 2 時 15 分～午後 3 時 36 分

場 所：市役所本庁舎議会棟 4 階 全員協議会室

出席者：

市議会議員 37 名

< 自民党新政会 >

馬場貴大議員、吉本孝良議員、水野淳議員、鈴木基司議員、浜中賢司議員、鈴木玲央議員、福安徹議員、伊藤裕司議員、近藤充議員、塚本秀雄議員、伊藤祥広議員

< 八王子市議会公明党 >

西本和也議員、渡口禎議員、美濃部弥生議員、五間浩議員、村松徹議員、荻田米蔵議員（座長）、小林鈴子議員、

小林信夫議員、中島正寿議員、市川潔史議員

< 日本共産党八王子市議会議員団 >

青柳有希子議員、鈴木勇次議員、松本良子議員、山口和男議員、山越拓児議員

< 市民・民主クラブ >

安藤修三議員、星野直美議員、伊藤忠之議員、相澤耕太議員、森英治議員

< みんなの党・無所属クラブ >

及川賢一議員、大久保賢一議員

< 諸派 >

鳴海有理議員、島内幸恵議員、陣内泰子議員、井上睦子議員

【欠席】

高木順一議員、小林裕恵議員

事務局：17 名（政策審議室 10 名、議会事務局 7 名）

【政策審議室】小島部長、小澤次長、原田次長、設樂主幹、和智主幹、古川課長補佐、市川課長補佐、中山主査、倉田主査、羽生主査

【議会事務局】中島局長、西村課長、渡辺課長、中条課長補佐、岩島主査、中村主任、鈴木主事

傍聴者：なし

事内容（要点）

**開 会**

【荻田副議長】

- ・ 本日の意見交換会の座長を務めさせていただく。

**議長挨拶**

【水野議長】

- ・ 現在の八王子ゆめおりプランの基本構想についても、我々は4期以上の議員は関わっており、その折は市民会議が素案を策定してきた流れのなかで、全会一致で決定した。
- ・ 今回の基本構想については、平成23年1月に市民会議方式により策定が始まり、素案提出までの間には市民会議委員と市議会との意見交換会も開催された。
- ・ 本意見交換会は、任意ということで参集させてもらった。また、第4回市議会定例会に提案される予定であり、今回、市側も議会の意見を聞きたいということで本会が開催されているので、御協力をいただきたい。

#### **総合政策部長挨拶**

##### **【政策審議室】小島部長**

- ・ 先ほど、決定された議員提出議案、基本構想に関する「八王子市議会の議決すべき事件を定める条例」の提案説明を聞きながら、一言一言に基本構想の重みを新たに心に刻んだ。改めて基本構想を担当する事務局として、身の引き締まる思い。
- ・ 本日は、議決事件としての審議を深めてもらう意味からも、また、策定途中であるが、基本構想・基本計画の市の考え方を御説明させていただき、住民の代表である議会の意見を参考とさせていただきながら、より良いものに仕上げていきたいと考えているところであるので、よろしくお願ひしたい。

#### **基本構想・施策体系、基本計画（第1編～第3編）の説明**

##### **【政策審議室】和智主幹**

（資料1、2、3に基づき、基本構想の構成と施策体系等について説明）

##### **【政策審議室】小澤次長**

（資料3に基づき、第1編（施策01から07）について説明）

##### **【政策審議室】設樂主幹**

（資料3に基づき、第2編（施策08から16）、第3編（施策17、18）について説明）

##### **【政策審議室】原田次長**

（資料3に基づき、第3編（施策19から26）について説明）

#### **基本構想・施策体系、基本計画（第1編～第3編）についての意見交換**

##### **【村松議員】**

- ・ 全体スケジュールとこの意見交換会の位置付けを確認したい。

##### **【政策審議室】和智主幹**

- ・ 市議会からの意見や素案の反映に関して意見をもらう市民委員会からの意見を踏まえて、最終的な原案は8月中旬頃に確定する予定としている。その後、パブリックコメントを経て、11月の議会に出させていただきたいと考えている。

##### **【村松議員】**

- ・ 議会として意見を言える場はこの場だけか。

##### **【政策審議室】和智主幹**

- ・ 現在のところそのように考えている。

【村松議員】

- ・ どこまでの内容について意見を言えるのか。

【政策審議室】和智主幹

- ・ 説明は時間の関係もあり、施策の主なものを説明させていただいたが、施策の全てについて意見をいただきたいと考えている。

【福安議員】

- ・ 基本構想・基本計画について市側から2つに分けて説明を受け、我々が意見を述べるにあたり、先日の代表者会では、会派でまとめて述べる話が話し合われたが、その通りでよいか。

【荻田副議長】

- ・ そのような理解で進めたいと思うがよろしいか。

【及川議員】

- ・ 施策 05「地方分権の推進」について、施策の展開に「3中核市への移行」がある。「地域の特性にあったまちづくりをすすめるため、中核市に移行します。」と断言されてしまっている。中核市への移行は議決事件であるため「中核市への移行」という断言されている文言については訂正するよう要望する。

- ・ 全体の第1編から第6編の分け方について、市長の所信表明の際にも、現状とめざす姿があり、そのギャップを埋めるための改革の方針と、その方針に沿った形で、どのような施策が作られるのかという点について市長にお聞きしたが、その答弁として、基本構想・基本計画のなかで考えていくということであった。

前回の基本構想の資料を見てみると、基本方針が書かれているが、今回、基本方針がなくなっている。第1編は第2編から第6編までどれにでもかかる方向性として捉えることもでき、また、第2編から第6編を実現させるための前提条件として第1編があるとも考えられる。今回は前回基本方針で示していたような方向性は何であるのか。第1編を方向性として第2～6編との違いを分かりやすく説明するなど、構成を組み直したらどうか。

- ・ 施策において、現状と施策の展開はあるが、課題が明記されていない。課題があるからこそ、施策を打つわけであるので、課題を分かりやすく書いてもらえるとよい。
- ・ めざす姿の書き方として、例えば施策 01の末尾「行っています。」は語尾の言い回しとして「     という状態になっています。」にした方がいいのではないか。

【福安議員】

- ・ 内容については、八王子市の憲法ともなり得るものであり、市議会の意見をしっかりと反映できるようにしてほしい。今回の意見交換会だけで足りるのかという思いもあるため、各会派、各議員から要望があれば、きちんと説明をし、要望を受けるといった姿勢で取り組んでもらいたい。

【政策審議室】小島部長

- ・ 冒頭にも申し上げたが、住民の代表である議員の皆様の意見も参考とさせていただきながら、これから 10 年のまちづくりをより良いものにしていきたいという思いでいる。そのために、どのようなプロセスをどこまで踏めばいいのかということについては、特別委員会での審議も控えており整理が難しいところもあるが、気持ちとしては、これを機に皆さんの意見というものを賜りながらできる限り基本構想・基本計画に反映させていきたいという思いでいる。

#### 【福安議員】

- ・ 特別委員会で議論する前に大きな方向性や重要事項については、議会の意見を聴く姿勢で取り組んでほしい。
- ・ 八王子ゆめおりプランにおいて、何が達成できて、何が達成できなかったのかという検証は必要と考える。検証による不足部分の把握や見直しをどこかの段階で行い、時代の変化に応じた上乘せをしてもらい示すほうが、市民にも分かりやすいうえ、普通の形だと思うがどうか。

#### 【政策審議室】小島部長

- ・ 八王子ゆめおりプランの総括ということになるのだろうと思うが、つくりが、前回から施策の展開ということで、方向性を示すものとなっている。各事業がどのように展開されたかについては、今の財政マネジメントサイクルでは事業を見直しながれめざすまちにつながっていくような組み立てになっており、1,800 事業すべてをもって示していくことは難しい面もあるが、意味合いからすれば、新しい基本構想・基本計画が従前の基本構想・基本計画に対して、社会変化だけではなく、自分達の取組みが功を奏したのかも踏まえながら展開していく必要性はおっしゃるとおりであろうと考えている。どういった形で検証をお示しできるかは現時点で固まってはいるが、お示しはしていきたい。

#### 【山越議員】

- ・ 会派を代表するという枠組みではあるが、なかなか十分な討議の時間が取れていないため、個人的な見解も含めて意見を述べさせていただく。市民会議で素案を作成してきて、このような提案になっていることについては、基本的には評価し充実させていきたいと思っている。
- ・ 全体に関わることとして、地域コミュニティの活性化が前にきた。地域コミュニティの活性化は必要であるが、全体としてどこの場面でも、例えば、高齢者への支援や子育て、教育についても地域の力をという組立になっている。また、各施策に「行政の役割」「市民への期待」を表記するとのことだが、心配するのは行政の果たすべき役割をどんどん小さくして、市民・地域の負担を大きくするというような捉え方も出来、本来地方自治体が担う役割を限定してしまうのではないかという懸念を強くもった。
- ・ 市民の皆さんが自主的に様々な市民活動や公共的な活動に参加することは望ましいこと。市民の参加について、市民会議の方々は非常に熱心で、自分の時間を割いて積極的に関わってくれた。ただ、現実には、労働環境や経済状況の影響により市民の全てが市

民会議の皆さんのように積極的に参加することは難しい状況もある。一地方自治体では解決できないこともあるだろうが、そのような問題意識はもってほしい。視点としては、本来、日本国憲法をはじめとした法体系の下で地方自治体が果たす役割を決して縮小させてはならないと感じている。

- ・ 施策 11「障害者への支援」、施策 12「高齢者への支援」に関して、表現があっさりしている感じもするため、充実をめざした表記になるよう工夫してほしい。
- ・ 施策 13「社会保障制度の適正な運用」に関して、適正な運用という表記であるが、枠組みに当てはめて、国の動きとの関係で社会保障が削られるという問題点もある。そのため、視点としては自治体として、社会保障、福祉の取組みを強めていくことを打ち出していけるような基本構想にしたいと私は思っている。

**【安藤議員】**

- ・ 現状を認識するため、八王子ゆめおりプランの総括を事前資料として作ってほしい。また、人口動態や税収の見込みに関する市の認識も基本構想を議論するうえで必要になるため提供してほしい。
- ・ 今回、自助・共助・公助のバランスに関しては、自助を広げていきたいのであろうと感じたが、公助がどこまで担い、自助でどこまでをカバーするのかをある程度明確にしていってほしい。基本構想としてはしっかりとしてくるのではないかと考えている。
- ・ 住民自治ではなく市民自治を使っている。市民自治の定義を教えてください。

**【政策審議室】小澤次長**

- ・ 八王子ゆめおりプランのなかでも、市民自治という言葉を使っている。住民自治は法の中で謳われているものであるが、そういった観点ではなく、市民自治はあくまでも八王子のなかでの自治という捉えをしている。八王子市として自治を考えていくということ。具体的には、前は市民と協働して作っていくということでお諮りしているが、今回は地域コミュニティが活性化した結果、住民自治に発展していく。そのようなイメージで市民自治という言葉を使わせていただいた。

**【安藤議員】**

- ・ 少し分かり難いが、住民と市民という言葉が違うということか。自分の理解だと、市民は八王子に住んでいる人だけではなく、通勤通学をしている人や八王子で活動している団体などを含み枠を広げているというイメージだが、そういった理解でよいか。

**【政策審議室】小澤次長**

- ・ 今回のなかでの市民の定義は、おっしゃられたように様々な方を示しており、個人だけでなく大学や企業も含んでいる。

**【陣内議員】**

- ・ 素案を活かして案が出来ているとのことだが、私としては市民会議の提案の意図が反映されていないのではないかと感じる点もあり、少し残念である。市民委員会はどのような状況となっているのか。

【政策審議室】和智主幹

- ・ 市民委員会は7月中旬まで行い、出された意見をまとめた意見書を提出してもらう予定になっている。私どもでは極力反映していることから、その旨説明しているが、現在意見をもっている最中であり最終的な段階には至っていない。

【陣内議員】

- ・ どのような意見ができるか分からないが、184名の市民会議委員が多くの労力を割いて策定したこの素案については最大限反映してほしい。
- ・ 現状について、10年間の総括的な内容が書かれているのであろうが、この現状認識が市民感覚とずれていると感じる。市民目線でのリサーチを加えてほしい。
- ・ 施策01 地域コミュニティには様々な団体がある。案の記載では、町会・自治会の表記のみで、NPOや市民団体の表記がないため、そのイメージが見えにくい。今後検討いただきたい。
- ・ 拠点事務所において、市民自治への支援を行うとのことであったが、6つの地域区分に沿った拠点事務所の再編・統廃合との関係はどうか。

【政策審議室】小澤次長

- ・ 地域事務所については、現在市民部及び福祉の関係の事務を取り扱っているが、そこに、市民自治や協働に関する支援も行っていこうと考えているもの。拠点事務所の再編・統廃合とは関係はない。

【陣内議員】

- ・ 受益者負担について、地域の市民活動を応援していくことを柱とするならば、社会貢献活動に対して利用料の減免を行うなどの支援も考えられるのではないかと。
- ・ 男女共同参画については、固定的役割分担意識など現状認識が後退している。そのことを踏まえて、次なる取組みが必要ではないかと。

【村松議員】

- ・ 素案のなかでも大きな柱として、震災対策が掲げられている。加えて、超高齢化対応が求められていると思うが、この点に関して、素案ではそれぞれの施策において対応していけばよいとの考えであったかと思う。しかし、そのような対応では十分ではないと思う。今回市の案としてまとめた中に超高齢化対応が織り込まれているところがあれば考えを示してほしい。

【政策審議室】設楽主幹

- ・ 御質問者の回答になるかどうか分からないが、八王子ゆめおりプランのなかには、「地域での支え合い」というページがあった。そのうちの「地域コミュニティ活動」に関しては第1編で取り扱うことになったが、それ以外の「地域福祉」の部分については、地域で暮らす人々が、共に支えあい助けあうなかで誰もが生きがいをもち安心して暮らせるということで、「地域福祉の推進」というページを新たに強化して設けたところである。また、高齢化に向かうなかで、私どもの都市政策研究所の報告にもあったが、これ

からの高齢社会はマイナス的なイメージではなく、むしろ長寿社会は喜ぶべきことであるというような考えに立ち、元気高齢者については高齢者の社会参加やサロン事業など人と人とのつながりにより、生きがいやひとの役に立てる実感がもてる地域づくりもこの「地域福祉の推進」というページに盛り込ませていただいた。そこでは子供から高齢者まで、様々な方々が支えあい助け合って生活をしていくことを強調させていただいた。

#### **基本計画（第4編～第6編）の説明**

【政策審議室】小澤次長

（資料3に基づき、第4編（施策27から35）について説明）

【政策審議室】原田次長

（資料3に基づき、第5編（施策36から42）について説明）

【政策審議室】設樂主幹

（資料3に基づき、第6編（施策43から49）について説明）

#### **基本計画（第4編～第6編）についての意見交換**

【星野議員】

- ・ 施策30「安全安心なまちづくり」の防災について、地域の特性によって取り組むべき内容が異なるため、地域ごとの特徴を活かした安全・安心のまちづくりを意識してほしい。例えば、私は市境に住んでおり、多摩市や日野市に近いのだが、そうすると八王子市の手助けがなかなか来ない。施策30では外国からの脅威に対する対策なども謳われているが、より身近なこととして、市境の地域などは近隣市からの支援が大切であると思う。
- ・ 10か年計画であれば、財政収支の見通しが必要でありそれに基づいて行っていくということも書いていただくとよいのではないか。

【島内議員】

- ・ 素案では多くの具体的提案が出されている。それらを実際の事業に活かせるかどうか、今後検討していく仕組みはあるのか。

【政策審議室】和智主幹

- ・ 市民会議へは、それぞれの施策のあるべき姿や解決すべき課題を最終的に書いてほしいと依頼したが、いきなりその点について書くことは難しいということから、それぞれの方が考えている具体的な事業を出していただいて、それをもとにあるべき姿や解決すべき課題を最終的に出していただいた。私どもとしては、最終的に出していただいたあるべき姿や解決すべき課題を原案に反映しているところである。具体的な提案は、それぞれの所管において今後の施策や事業実施の参考としていくが、直接今回の原案に書くという位置づけではない。

【島内議員】

- ・ 施策28「だれもが快適なまちづくり」、施策29「災害に強いまちづくり」両方に公園整備が掲載されている。公園はその箇所によって必要性を検討されるものであり、このように書かれると空地があった際に何も考えずに公園をつくりましょうとなってしまう。

本当にそれでいいのか再度検討してほしい。

【政策審議室】小澤次長

- ・ 防災 29「災害に強いまちづくり」での公園整備は、防災機能を備えた公園という意味であり、公園を増やしていくかどうかについては、施策 28「だれもが快適なまちづくり」で対応していくものであり、住み分けはしている。

【大久保議員】

- ・ 施策 36「産業振興の体制強化」に関して、今後 10 年間であるならば、八王子市の産業構造の変化などを考察したうえで、取り組んでいくことが望ましい。この案では製造業に重きが置かれているが、ここ数年をみていると製造業は 2,000 社から 1,300 社程度に減ってきている。一方で、サービス業が増え、農業については 6 次産業化が求められている。そのため、単に製造業のみにフォーカスを当てるのではなく、これら産業構造の変化を捉えた対応を入れてもらいたい。また、創業塾では、5 期までは IT 系や製造業が主流だったが、最近ではコミュニティビジネスが増えてきている状況がある。この辺はコミュニティビジネスを市民活動と捉えるかビジネスとしてみるか分かれるところだが、ビジネスとして捉えて、産業のなかで振興していくことも必要ではないか。
- ・ 施策 40「新産業の創出」の起業者・創業者支援において、企業の成長段階に応じたきめ細やかな支援を謳っているが、同じきめ細やかな対応であれば、業態に応じた対応が必要であると感じる。記述として成長段階だけではなく、「業態に応じた対応」を入れてほしい。

【山越議員】

- ・ まちづくりに関しては意見の対立することもあるが、今日の時代にふさわしく、災害対応や就労支援を掲げていることに関しては応援したい。
- ・ それらに関することだが、防災活動の中心となってくれる消防団などは地元八王子で商売されたり働いている方が多い。地域で助け合う社会を築くという意味合いからも、八王子に住み、ものをつくり、商売を行えるという産業振興の視点での支援を入れてほしい。
- ・ 自然再生エネルギー問題が、施策 45「地球温暖化対策の推進」に入っている。今日の市民の関心や今後の原発ゼロへという、段取りについては色々見解が分かれるであろうが、市長も転換を進めるべきだと答弁していることから、エネルギー政策という問題を、もう少しレベルアップして柱立てとして見えるようにしてほしい。

【森議員】

- ・ 前回の基本構想・基本計画の名称は八王子ゆめおりプランであったが、今回名称は考えているのか。
- ・ 今回の案には目標設定は入っていないと説明を受けた。目標設定などはパブリックコメント時には入れるのか。

【政策審議室】和智主幹



- ・ 目標設定については、基本的には全ての施策に掲げたいと考えており、パブリックコメントまでには用意していきたい。なお、名称については現時点では明快なものはない。

【村松議員】

- ・ 施策 29、30 の内容については、素案でも多く取り上げられている。例えば基本施策の文言に防災の色を濃く表現するなどできないか。

【政策審議室】小島部長

- ・ カテゴリーをどう括っていくのかについては、それぞれお考えがあるのだと思う。私どもとしては、安全安心という両側面からまちづくりに取り組んでいくということで、災害だけではなく、防犯の部分も含めながら現状このように標記させていただいている。

閉会